

第5回 本庁跡地整備基本構想検討会議 会議録

【日 時】平成26年11月26日（水） 午後4時から午後5時40分まで

【場 所】長浜公民館 2号室

【出席者】◇参加者8名、市9名

（敬称略）

滋賀県立大学	松岡 拓公雄 （座長）
長浜市図書館協議会	森川 裕子
長浜地区総合施設建設促進協議会	漣 泰寿
淡海ネットワークセンター	澤 孝彦
長浜ビジネスサポート協議会	押谷 小助
長浜商工会議所	伊吹 正弘
長浜市社会福祉協議会	伊藤 雅明
（公募市民）	寺村 京子

総務課	小川課長 （事務局）
総務課	田中副参事 （事務局）
総務課	片山主査 （事務局）
市民協働推進課	米田副参事
生涯学習・文化スポーツ課	岩坪課長
社会福祉課	大音副参事
商工振興課	米田課長
観光振興課	改田課長
教育指導課・長浜図書館	川瀬室長

【欠席者】2名

立命館大学	岡井 有佳
公益社団法人長浜観光協会	岸本 一郎

【傍聴者】2名

【内 容】

1. 開会

2. あいさつ

（事務局説明）

・欠席者…立命館大学 岡井氏、長浜観光協会 岸本氏

3. 議事

（1）前回会議までのふりかえりとその後の動き

（2）長浜市役所本庁跡地等整備基本構想（パブリックコメント素案）について

（3）意見交換

事務局：（事務局説明）

- ・【資料1】第3回本庁跡地整備基本構想検討会議での意見まとめ
- ・11/7実施の市民交流プラザふくちやまの視察概要

・【資料 2】長浜市役所本庁跡地等整備基本構想（パブリックコメント素案）

今年 5 月策定の利活用方針では来年度、基本設計、実施設計、29 年度に完成としていたが、基本構想としては、来年度コンサルを入れ事業計画策定の期間を 1 年設ける。

座 長： 民活活力導入の可能性の検討等を含め事業計画策定の期間を 1 年とられるが、その間もこの会議で続けて説明を受ける可能性はあるのか。

事務局： そう考えている。

座 長： この会議も市民からの代表が来られているが、具体的に中身を詰めていくなかで、市民の細かな意見を吸い上げるワークショップ的なものを行う予定はあるか。

事務局： 基本構想 p 12 にもあるが、ワークショップの実施など形式は検討する。また、団体から個別の意見を聞く機会も持ちながら事業計画をまとめていきたいと考えている。

委 員： 福知山市へ視察へ行ったが、駅前の立派な建物で広域的に利用されていた。観光や産業支援機能はあまりないが、府のジョブセンターがあった。滋賀県も草津にヤングジョブセンターがあるが、特に若い人が地元企業で働けるよう、北部地域全体のジョブセンターを設けてもらいたいと思う。福知山のジョブセンターは 1 日 50 人くらい利用され、職安から 2 名出向され 9 名の職員が働いている。施設として機能を果たしておられると思うので調べてほしい。滋賀県は南高北低の経済であり、支援機能が全て大津、草津に集中している。長浜だけではなく、彦根、高島を含む北部全体を支援できるようなものを持ってこられるか、県と協議し具体的なものを出してほしい。大津に産業支援プラザがあり、特に商工会はよく利用するが、そこへ行かないと情報が得られないので、情報を得にくい。ぜひ、産業支援プラザの北部支所となるような機能を取り入れてほしい。

座 長： 計画している産業支援機能のなかに、そういった機能はないのか。

事務局： 商工会議所や商工会の皆さんのお力を借りながら産業経済部から県へ接触していき、そういう機能が産業支援機能に入ってもらえるよう担当課と協議したい。

委 員： スケジュールが延びて余裕があるといろんな機能の話がどんどん膨らんでくる。期間が長くなればなるほどよい話も入ってくるが、どんどん風船を膨らませたようになってくる可能性も強いので、きちんと行政主導で考えないと、財政面で大きな問題も出てくる。面積は限られているので、そのなかでどういうふうに機能を活かすか考えないと収拾がつかなくなる。福知山は立派な施設だが、福知山市だからできたのだと思う。本庁跡地は長浜駅から新しい市役所への動線の中になるので、7つの機能を入れて、誰が見ても納得できるものを造らないと大きな問題を残すと感じた。先進事例のメリットとデメリットを検証して、観光客が 200 万人近くいる長浜でどういうまちづくりをするのか、行政と経済が両輪でやっていくというコンセプトでこういった機能を入れているので、行政でもしっかり考えてほしい。

商工会議所の立場ではスケジュールが 1 年延びて困っている。商工会議所では建設委員会と専務を筆頭にした職員の建設準備室をつくっている。組織を立ち上げて検討の回数を重ねてきた。昨日、臨時常議員会を開き、昨日まであったことをすべて報告して機関決定した。そのなかで、商工会議所が応分負担する資金はどう集めるのかという話が出たが、そこに入り切れない部分がある。面積も設計段階で増減するため確定していないので何億ですと言えない。1 年延びるとなると、商工会議所も行政にあわせて延ばさ

ないといけない。来年度のどこかの段階でデザイン等を出してほしい。寄附の段取りもあるのでご理解いただきたい。市の検討には建築関係の専門家が入っていない。プロジェクトチームをつくらないと進まないとしには申し上げている。可能なら商工会議所もそのメンバーに入れてほしい。

委 員： 福知山は、途中、計画の凍結や市長選挙があり、市長選の争点になったとも言っておられた。1年スケジュールを延ばすと、当然市長選や市議選が近づいてくる。福知山のように計画が凍結され白紙に戻ると大変なことになるので、よく考えてやってほしい。

委 員： 1年延びたのは、選挙や消費税10%の延期、アベノミクスがうまくいかず経済がマイナスで、国の補助や予算が12月にはできないというような兼ね合いや人手不足が原因ではないかと思う。東日本大震災後、住宅を建てるにも人手が足りないので建てられず延びてしまっている。そういう含みもあってではないかと勝手に解釈している。最初にスケジュールを聞いたときは拙速にやっていいのかという思いもあった。まして新庁舎にお金がかかっているのも、それも含めて、どういう方向でいくのか先進地を参考に、1年間、いいものを練ってほしい。この間テレビで見たが、鳥取県は情報で産業育成していて、本や雑誌の情報を集めてそういうものに特化してやられている。コンセプトとして羅列されると何が焦点なのかぼけてしまう。

委 員： 市民がどのような思いで施設に来られるか、生涯学習や市民活動はすぐ答えが出るものではないので、どう評価するのが大事。仮に跡地に何かができる市民が何しに行こうとなった時、今のままなら目に見える柱がないので市民がわからない。商工会議所はしっかりしているので、具体的にどんどん進んでいっているが、市民活動支援や生涯学習の機能をどうするということは後手になると思う。今の感じだと、商工会議所のスピードに乗ってしまう、波に飲み込まれてしまうところがある。一番の目的は何のために造るかということを整理したほうがいいのではないか。商工会議所が新しく建ち、そういう機能を持つことは必要だと思うが、本来の生涯学習支援や市民活動支援がどういう形になるか難しい。足かせになってしまう気がしてならない。何を真の柱にするかを考えないと、決まるようで決まらないと思う。

もう1つ、コンサルで整理するのはうまくまとめてもらえると思うが、コンサルをお願いをして素晴らしいものができた、市民が満足したものができたというのは少ない。安易に形にするのではなく、チームをつくり議論したほうがいいかと思う。

委 員： 商工会議所は決して慌てているわけではない。資金をどうするかが一番の大きな問題。景気の悪いなかで数億円を集めないといけない。できるだけ多くの寄附を集めようとすると、きちんと段取りをして納得してもらわないといけない。一緒にやりたいと思っている。

座 長： 今回、コンサルは事業計画をまとめていくためのものと考えられるので、きちんと市民の意見をまとめていけるコンサル、合意形成を図れるコンサルを選んでほしい。熟成させていくためにコンサルを選定してほしい。商工会議所のなかをまとめていくことも大変だと思うし、まちが一つにまとまって動くことに参加することはとても大事なことで。一緒にやるメリットもある。でも棲み分けしていかなければいけない部分もある。それを明確にすることが必要。そのための時間としてワンクッション置くので、熟成させて吟味していく方向に行けば、よりよいものができるいいチャンスだと思う。

委 員： 最後の詰めがうまくいかないこともあるので、図書館を利用する方やそこで働く人の

意見もしっかりと取り入れてほしい。p8の子育て安心スペースについても、子育てをしている人の話を聞いたうえで環境を整えていただけたらできてよかったと思えるので、そういう意見も吸い上げてほしい。

座 長： パブリックコメントも1つだが、大勢の人に見てもらえるようワークショップ的なことを積み重ねていき、具体的な話もちちゃんと進めてほしい。新庁舎には観光の展示スペースはあるのか。

事務局： 新庁舎には観光コーナーはないが、市政情報コーナーのほか、モニターで観光情報等が常に流れていて目にさせていただく機会は増える。

座 長： 新庁舎でもそういう機能があれば棲み分けが大変かと思ったが、なければ、本庁跡地で観光案内等を取り入れることも考えられる。それはどこの機能でみればいいのか。

事務局： いろいろ考えられると思うが、図書館での資料提供や生涯学習機能での発表・展示、商工会議所も以前は市の特産品の展示等をしておられた。地元企業や地元の特産品等の紹介コーナー、イベントを開くこともできるし、やり方によって変わるので、最低限これがないとPRできないというのは建物や備品の整理になる。活動される市民の方やソフト面でのPRが大事だと思う。

座 長： 観光駐車場は駐車場だけに見えてしまうが、施設と絡めて計画することも可能。

委 員： 駅に新しく観光案内ができるのか。

委 員： 駅の観光案内所は工事の関係で移動するかと思う。売店の西、前の井筒屋さんに観光案内所を設置されるが、人の流れからするとほとんどの人が東向いて来られる。

事務局： 駅前の再整備計画のなかでは、駅前に観光スポット、長浜市をアピールするアンテナショップのようなものを詰め込んでいくという計画をされていると聞いており、大きな全体としての観光案内所のイメージの建物ができるとは聞いている。ここでできる建物で何ができるかという、長浜市のなかでもどこで何が起こっているか知られずにいるので、それが図書館に來たついでに、市のなかでの交流が生まれればいいと思っている。中央図書館をめざして観光客が来られるイメージではなく市民の皆さんが図書館や生涯学習施設を使おうと来られるのが主と思っている。

座 長： 一点集中よりもプラットホームのように広くしておいてアクセスしやすくしたほうがよい。今回の施設も一部そういうのが含めればいいかと思う。構造的に駅前と市役所が二極化しているので、両方にエンジンをつけて動かすようにしたほうがいい。

パブリックコメントに出す前に直したほうがいいところはあるか。

委 員： p9機能連携相関図の商工会議所と産業支援機能の間の「知識・ノウハウ」の矢印が一方方向のみになっているが、両方向の矢印との間違いか。

事務局： はい。修正する。

委 員： 前回の視察のなかで、福知山市は中央公民館という位置づけになっていたが、議事録の答弁を見ると、あまり中央公民館としての役割を果たせていないということか。

関係課： 質問の意図は、中央公民館として整備されたが、もともと中央公民館があったのか、地区公民館が今現在もあるのかを聞いた。福知山市にはもともと中央公民館が市役所の隣にあり、中央公民館をそのまま移転させている。

委 員： この跡地では、1つの地域公民館という扱いでよいのか、中央公民館としての機能を持たすべきか、どういうふうにお考えか。

関係課： 中心になるべき公民館だと思うが、中央公民館とすると、今までとは違う位置づけに

なる。今ある地域公民館と中央公民館の役割をどうしていくかということになる。中央公民館となると当然業務が増え、人も必要になる。現実的な問題として、そのしわ寄せは地域公民館に行ってしまう。今、地域公民館が担っているものを中央公民館で吸い上げて中央公民館でやるということまでの考え方を持つ必要が出てくるので、現実的には難しいかと考えている。

委 員： 中央公民館が必要なら、こういうチャンスでないと真剣に考えられないのではないかなと思う。これを一公民館にしてしまったら長浜市には中央公民館はできない気がする。

関係課： もう1つは地域づくりの活動拠点を持たせようとしている。公民館の管理運営についてはコミュニティ機能と生涯学習機能の両方を持つことになるが、できたらまちづくり団体の方に管理運営していただきたいという方向性がある。地域づくりの地域は旧長浜地域となるので、それと中央公民館とした時の整合をどうするのかも問題になる。中央公民館を全く否定しているわけではないが、あえて公民館や中央公民館という言い方をしなくてもいいのかという思いもある。地域公民館に影響する部分があるので難しいところもあるかと思っている。

委 員： 市民に新しい施設へ足を運ぶ意欲を持たせる時に、普通の図書館なら近くの図書館に行かれると思うが、中央図書館なら蔵書もありそれだけの情報も人材もある。市民やいろんな活動をしている人がそこに行きいろんな情報をフィードバックしていこうという意識づけになると思う。決して中央と付けただけではいけないと思うが、せっかく造るのだから、市民が一步進んで積極的に行けるような視点で造るべき。

委 員： 福知山は各地域にある公民館の核として中央公民館があるという受け取り方をした。

関係課： 福知山は中央公民館です。中央公民館があって、各地域に地区公民館がある。今の長浜公民館を残しながら中央公民館があるイメージ。長浜公民館をなくすわけにいけないので、長浜公民館の機能を残しながら中央公民館の役割を果たそうということになる。

事務局： 長浜地区から公民館がなくなってしまうとなると話がややこしくなる。もともと長浜公民館そのものが広く各種団体が使用されていて実際には既に中央公民館的なものを持っている。それをあえて中央公民館という言い方にするのかということだが、中央公民館なら大きくて普通の公民館なら小さいということではないので、ソフト面の職員の配置等で変わらと思う。それは、今後進めていくなかでの1つの課題、提案かと思う。

座 長： 公民館はランク別の組織をつくらなければいけないという決まりがあるのか。

関係課： 公民館は概ね小学校区単位で1か所程度設けるのが望ましいという国からの指導はあるが、中央公民館を設けなければいけないことはない。

委 員： 地域公民館は地域密着型なので、地域の問題を解決する時は小回りが利く組織だと思う。もう1つ大事なのは、長浜市全域で、高い視点で見るところがどこかにないといけない。今回の新しい施設のなかに、その役割を果たす、俯瞰的な視野で将来の長浜像を描いたなかでの司令塔のようなものがあるのではないかなと思う。

事務局： いくつもの機能を足した1つの塊としてのネーミングによって、受ける印象が変わってくるかと思う。福知山のプラザも図書館だけは1か所の出入口で管理し、本を自由に持ち運べるところが図書館で、他は自由に出入りでき、公民館と捉えればそう捉えられるという建物だった。全体をどう捉えるかはどういう組み合わせでどんな建物にするかで変わるので、市民の皆さんにわかるような形で提案して、より高みをめざしたものにしていきたい。

- 委 員： 福知山は国や県の補助がたくさんあった。
- 事務局： 手法的には福知山等が貰っている国の補助金を使い、対象となるような形に持っていこうと思っている。
- 座 長： いずれにしてもパブリックコメントで示していくのはいいと思う。公民館機能はこのままの表現でよいか。産業支援プラザについては文言として何か必要か。
- 委 員： 私たちも産業支援プラザをすべて把握しているわけではないので調べる。行政も県と連携して調べてほしい。滋賀県北部の経済を活性化するためには、県に協力いただき、この施設に北部全体を見据えた支援機能がほしいと思っている。ただ、長浜市の建物にそういう機能をつくるなら近隣の行政とも話をしなければいけないと思うので、1年の間に話をしていただき、北部の経済を活性化するための機能を入れてほしいと思う。
- 関係課： 産業支援プラザのようなものという書き方はできないので、フューチャーセンター機能のなかに、スムーズな情報連携と高度な専門性を備えた支援により、地域や分野の枠を超えたサポートを行うとしている。産業界全般にそれぞれの側面に応じたサポートをしていくということで、県へも協力の要望活動や具体的な機能を誘致するための活動も行っている。しっかり対応していきたいと思う。
- 委 員： 跡地活用というだけなので施設の名称がほしい。何か名称がないと説明しにくい。仮称でもよいので一言で伝わるような名称があれば市民にもわかりやすい。
- 座 長： イメージを固めてしまっているのかということもあり難しいが、市民が集まり、支援したり、情報交換したりする拠点なので公民館とも図書館とも言えない。市民交流施設くらいしかないか。
- 1つ気になるのは、施設整備方針のなかに駐車場の文言があるか。建物は周辺に配慮した外観デザインと書いてあるが、駐車場はかなり面積を占めているので、駐車場を含めた景観や緑化する駐車場、環境的な配慮をするなど、どこかに一言欲しいと感じた。建物に集中しているが、駐車場は重要な敷地活用法。
- 事務局： 景観への配慮の項目で、「建物及び駐車場は周辺の景観に配慮したデザインとします」とすることでよいか。
- 座 長： はい。パブリックコメントを受けてこれを修正していくことになる。ここからがスタートのようなもの。貴重な意見を取り込み修正があれば事務局で対応していただく。

4. その他

5. 閉会

- 事務局： (事務局説明)
- ・今後のスケジュールについて
- 12月中旬からパブリックコメント前の全庁意見照会を実施
- パブリックコメント案を議会に説明し、1月中旬から1か月間パブコメ募集
- 2月下旬に構想完成、3月議会で説明
- 大きく変わるところはないと思うので、庁内意見照会を終え、パブリックコメントを行う前には皆さんに案を郵送で提供させていただこうと考えている。
- 座 長： 次回はいつ頃か。
- 事務局： 3月の予定。